

としよかん だより

長崎市立図書館

〒850-0032 長崎県長崎市興善町1-1

TEL 095-829-4946 FAX 095-829-4948

ホームページ <https://lib.city.nagasaki.nagasaki.jp/>



ホームページスマホ版

2024.5 No.195



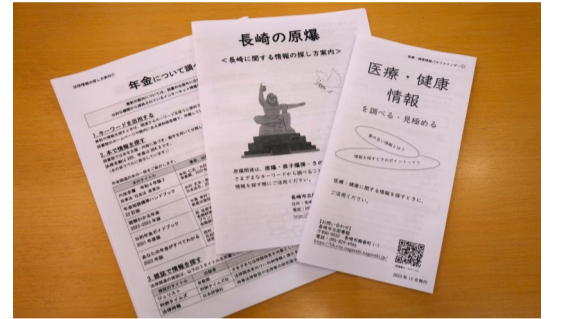
Topic

■ ご存知ですか、パスファインダー

パスファインダーとは、あるテーマについて調べるときに役立つ本や情報を紹介した、リーフレットです。ぜひご利用ください。

- ・長崎関連 (6種)
- ・くらしの法情報 (6種)
- ・医療・健康情報 (3種)

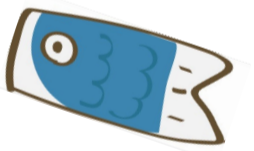
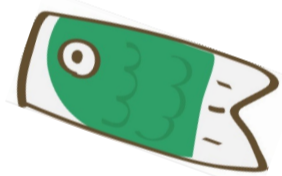
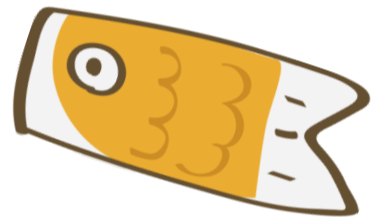
1階・2階フロアに置いています。
ホームページでも公開しています。



Information

図書展示

- 1階特集展示 ちよっと一息、からだにいいこと (5/2~5/30)
- 2階特集展示 ちよっとコアな、お住まい探訪 (5/2~5/30)
- 2階特別展示 まちなかの記憶ー昭和・平成の長崎ー (~5/16)
浦上コレクション 北斎漫画ー驚異の眼・驚異の筆ー (~5/26)
伝説・ファンタジーの世界 (5/16~5/30)
- YA特集展示 応援★スクールライフ
- YA投稿展示 新学期・新生活あるある募集
- 児童特集展示 外であそぼう!
- 児童ミニ展示 いろいろななかぞく
- 児童特別展示 TSUNAGARU・HONDANA 童話館出版×長崎市立図書館
『ぞうさんのほんだな』童話館出版編集部メンバー 私のイチオシ編
Vol.2 (~5/12)、Vol.3 (5/15~)



イベント

フィリピン・ミンダナオ子ども図書館

松居友講演会「絵本は愛の体験です」

6月9日(日) 14:00~16:00

会場：多目的ホール

講師：松居友 さん

(ミンダナオ子ども図書館 創設者・館長/絵本作家・児童文学者/
父は福音館書店初代編集長の松居直氏)

西村奈々子 さん

(ミンダナオ子ども図書館スタッフ)

申込方法：メール または
こどもとしよかんカウンター

定員：80名(先着順) 参加費：無料

フィリピン・ミンダナオ子ども図書館代表の
松居友さんに、子どもに豊かな愛を注ぐ昔話と
絵本の読み語りの大切さをお話ししていただき
ます。また、アイヌに伝わるカムイ・ユーカラ
の豊かな世界についてもお話をうかがいます。



開館状況やイベントの詳細・開催状況は、図書館のホームページ・SNS・館内ポスターをご確認ください。

BOOKS：知らぬ道、知らぬ場所、知らぬ話



冒険家たちのスケッチブック 発見と探検のリアル・グラフィックス

ヒュー・ルイス＝ジョーンズ/著
カリ・ハーバート/著
和田 侑子/訳
グラフィック社
2018年刊
ラベル：T290.9ル(1階旅)

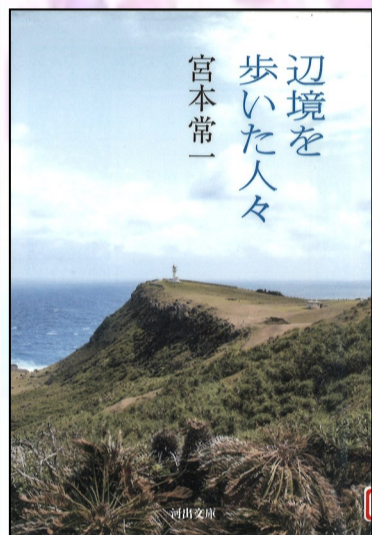
旅にメモやスケッチはつきものだ。ただの走り書きからツタンカーメンの墓の内部を記録したノート……。ダーウィン、植村直己などの冒険家たちが体験したこと、発見したものがいきいきと描写されている。



星の旅人 伊能忠敬と伝説の怪魚

小前 亮/著
小峰書店
2018年刊
ラベル:Y289.1イ(1階ヤングアダルト)

伊能忠敬とともに旅をする少年平次の視点で、忠敬の足跡を辿る歴史物語。物語と史実が並行して描かれている。忠敬の生い立ちや時代背景・測量技術の進化などの解説もあり。



辺境を歩いた人々

宮本 常一/著
河出書房新社
2018年刊
ラベル:B291ミ(1階文庫)

幕末から明治期にかけて、蝦夷地から東北、八丈島、琉球、台湾などの辺境の地を歩き地理や生活様式を調査した人々がいた。一生をかけて民俗学の先人ともいえる仕事をした近藤富蔵、菅江真澄、松浦武四郎、笹森儀助の四人の評伝。



秘密基地の作り方

尾方 孝弘/著
のりたけ/イラスト
飛鳥新社
2012年刊
ラベル:384.5オ(2階フロア)

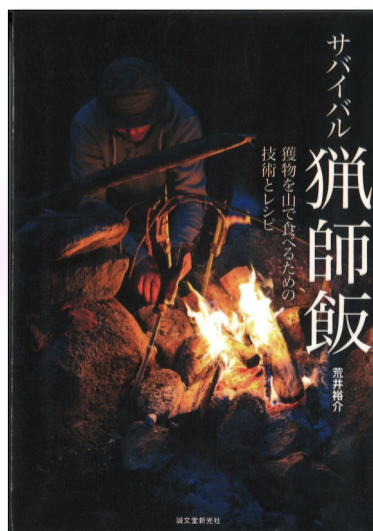
老若男女、「秘密基地」という言葉にワクワクしてしまうのはなぜだろう。思わず懐かしさが込み上げるものから図面化して設計した本格的なものまで、イラストと写真満載で秘密基地の作り方をガイドする。



考古学者が発掘調査をしていたら、怖い目にあった話

大城 道則/著 芝田 幸一郎/著
角道 亮介/著
ポプラ社
2023年刊
ラベル:202.5コ(2階フロア)

3人の考古学者が、それぞれエジプトとシリア、中国、ペルーでの発掘調査時に怖い目にあった“実話”。「一年後に届く日本からのハム・ソーセージ」、「ヒッチハイクに見せかけた強盗」など、驚くエピソードが詰まっている。



サバイバル猟師飯 獲物を山で食べるための技術とレシピ

荒井 裕介/著
誠文堂新光社
2017年刊
ラベル:659ア(2階フロア)

おいしく食べることは命に感謝すること。狩猟をおこなう著者が、猟で仕留めた獲物を山で食べるための技術とレシピについて、ルールやマナーも織り交ぜながら紹介する。

